

平成25年11月28日
筑波大学

平成 25 年度大学の世界展開力強化事業の採択について

文部科学省が実施する「平成 25 年度大学の世界展開力強化事業」に、筑波大学が申請した取組み「アセアン横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム (Trans-ASEAN Global Agenda Education Program)」が採択されました。

今年度の同事業は、海外との戦略的高等教育連携支援として、SEAMEO (東南アジア教育大臣機構) の加盟国を枠組みとする学部生向けの学生交流プログラム (ASEAN International Mobility for Students Programme : 通称 AIMS プログラム) に日本国として参加し、日本人学生の海外留学や外国人学生の積極的受入れを伴う教育連携プログラムを開発・実施する事業を対象とするものです。本事業に採択されたことにより、本学は、AIMS プログラムの日本側の正式な参加大学として取り扱われます。

筑波大学では、本事業に対し全学的に取り組むことにより、日本人学生の海外留学と外国人学生の受入れをより一層促進し、日本とアセアンの学生に「グローバルな思考力、異文化理解力及び多様な課題を解決する専門力」を育成し、「国際環境適応力 (バイタリティー、サバイバビリティ) を備えた専門性の高いグローバルリーダー」を養成します。また、本学教育開発国際協力研究センター (CRICED) が日本で唯一の SEAMEO との提携機関であるという強みを活かし、AIMS プログラムの拡大と発展を図るとともに、本事業の成果をアセアンから世界に展開していく予定です。

■採択プログラムの概要：「ASEAN 横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム」

本プログラムでは、世界協調と地域及び課題横断型アプローチにより、国連ミレニアム開発目標 (MDGs) 及びこれを継承する持続開発可能な開発目標 (SDGs) にかかわる課題解決に貢献できる人材育成を目的とし、筑波大学が提供する学際的な教育プログラムを通し学生の自主性理解を醸成します。マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピンの 17 の AIMS 参加大学との間で、学士課程レベルの学生の単位互換及び認定を伴う双方向の交流 (原則 1 学期間) を行い、本学は 4 科目の選択必修科目 (グローバル社会基礎学、トランスアセアン・グローバルディベート演習、専門演習、グローバルインターンシップ) を含む 400 以上の英語プログラムを提供します。特に、基幹的なトピックスである農業食料・環境・生物多様性・エネルギー・水などの内容を踏まえた AIMS プログラムの 7 教育分野すべて (農業、言語・文化、国際ビジネス、食料科学技術、工学、経済学、ホスピタリティ&観光) に対応した教育を実施します。

本件担当：筑波大学国際部国際企画課 (石野、富岡)
TEL : 029-853-2058、8481
E-mail : tenkai@un.tsukuba.ac.jp

アセアン横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム 大学の国際化に向けた戦略における構想の位置付けと全学的推進体制 ①

建学の理念:「世界に開かれた大学」

ミッション: 世界の問題解決に主体的に貢献する人材の創出と知識創造

アセアン横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム



- ・ 本大学の学際性・国際性を生かしAIMSプログラムに参加
- ・ 対象7学問分野をカバーする幅広い英語による科目の提供
- ・ 国連大学との連携により国連開発目標達成に向けた人材育成
- ・ 国際的通用性のあるトランスナショナル学士教育の展開



国連提唱グローバル課題
〈ミレニアム開発目標・持続可能な開発目標〉

貧困の撲滅
水・エネルギー・健康・農業・生物多様性
(WEHAB)
持続性・グリーン成長戦略と施策・防災



主体的にグローバル課題を解決する

- グローバルな思考力
- グローバル課題理解力
- 専門力
- 異文化理解力
- コミュニケーション能力

ASEANで
顕在化

- 学生モビリティの飛躍的増大
- アセアン地域の大学の国際化
- 若手人材ネットワークの形成
- AIMSプログラムの拡大・発展

教育プログラム
による
人材の育成

国内外の組織と連携
した成果の普及

ASEANから世界へ



アセアン横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム

質保証を伴った付加価値の高い魅力的な教育プログラムの提供（人材育成の内容）

受入(25名/年)

JTP英語科目・G30学群英語プログラム

400科目以上

教養科目(基礎科目)

芸術・日本語日本文化・体育など

異文化理解力

専門科目・専門基礎科目

食料・健康・環境・防災に関連する科目など

専門力

12
単位

特別科目(新設科目)

コミュニケーション能力
グローバル課題理解力

グローバル社会基礎学(1単位)

・産業界・官界・国連大学の専門家による講義
⇒グローバル課題を理解

トランス・アセアン・グローバル・ディベート演習(1単位)

・各国の学生・教員とのディベート
⇒コミュニケーション能力の向上

専門演習I～VI(各1単位)

・下田臨海実験センター等における野外実習
⇒グローバル課題を実地に理解

グローバル・インターンシップ(各1単位)

・地球規模課題に取り組んでいる企業・研究所での就業体験
⇒グローバル課題への取り組みを理解

6
単位

国連提唱
グローバル
課題

貧困の撲滅

水

エネルギー

健康

農業

生物多様性

持続性

グリーン
成長戦略
と施策

防災

ASEANで
顕在化

派遣(25名/年)

交流大学が提供する7分野から

教養科目

異文化理解力

専門科目

専門力

インターンシップ科目

グローバル課題理解力

16
～
20
単位

特別科目(ASEAN諸国の学生と共働)

コミュニケーション能力
グローバル課題理解力

2
単位

グローバル社会基礎学

トランス・アセアン・グローバル・ディベート演習

グローバル科目群(グローバル commons 開設)

実践的語学教育科目

コミュニケーション能力

交流予定大学(22校)

AIMS参加大学(17校)

マレーシア:4大学
インドネシア:3大学
タイ:5大学
ベトナム:1大学
フィリピン:4大学

AIMS参加大学以外(5校)

オーストラリア:2大学
ミャンマー:1大学
カンボジア:1大学
ラオス:1大学